

実施日：6月30日（5校時）	
領 域：特別活動	
取組名：いっしょにあそぼう（資料「いっしょにあそぼう」（いじめ未然防止プログラム：兵庫県教育委員会）	
対 象：1年生	実施場所：1年生教室
ア ねらい 様々な場面で友だちを誘うためのスキルを習得し、温かい人間関係を作ろうとする態度を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードを見て、一人ぼっちの子がどんな気持ちかを考える。 ・ 一人ぼっちの子に気づいたときどのような言葉をかけたらよいかを考える。 ・ どんな誘い方がいいか考える。 ・ 友だちに誘いを断られる場面を考える。 ・ いっしょに遊ぼうと誘ってみる。 ・ 本時の学習をふり返り、感想を伝え合う。 	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 学級だよりを通してこの取組を保護者と共有する。また、普段の言動をよく観察し、気になることは保護者と気軽に話せるよう関係を作っていく。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ ティームティーチングで実演を交えることで子どもたちが善悪の判断について考え、行動できるようにする。 ・ ペアトークを多く設定し、実践的行動力を育成する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の内容 ・ ペアトークの取り組み方 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアトークを多く設定することで、子ども一人一人の様々な考えを交流することができた。 ・ 子どもから出た考えをティームティーチングで実演することにより、「笑顔で」「明るい声で」「ゆっくりと」伝えることの良さやポイントを子どもが実感できた。 	
ク 課題 生活の中で実践できる態度や行動力を定着させるためには、さらに多くの場面を設定したり、同じような学習に継続して取り組んだりする必要がある。	